



済生会

わかやま

NEWS

第32号

発行日: 2016.5



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

済生会和歌山病院 院長 松崎 交作



当院は平成15年に、旧病院から現在の地に全面移転し本年で13年目を迎えます。その時の基本方針として、第一に「急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。」ことを掲げています。「急性期医療」とは、病気が緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査などの医療を提供することを言い、当院では一般病床160床、回復期リハビリテーション病床40床の合計200床の規模で、職員全員が丸となり、地域から求められる病院を目指して頑張ってきました。

ここで、移転前(平成14年度)とその後(平成26年度)のいくつかのデータを比較してみました。まず1日平均外来延患者数は272人から302人に、1日平均入院延患者数は146人から169人に、平均在院日数は24日から17日に、紹介率は38%から61%に改善され、職員数は184人から337人に増加しています。とくに顕著な変化が見られたのは、手術室で行った手術件数で、年間690件から1,447件に増加しております。これは整形外科、循環器内科、外科、心臓血管外科と脳神経外科(移転時に造設されています)の合計の手術件数です。紹介率や手術件数などからみると、当院は徐々にではありますが、急性期治療を行う病院として、地域から認められつつあるのではないかと考えています。

また私共はより良い病院作りには、常に第三者から適切な評価を受け、それを克服していくことが必要と考えています。その一環として、当院は平成28年6月に日本医療機能評価機構の「病院機能評価3rdG:Ver.1.1」を受審する予定です。当院はすでに平成16年12月(Ver4.0)と平成23年6月(Ver6.0)にも受審し、認定病院になっています。「病院機能評価」は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者が中立・公平な立場に立ち、所定の評価項目に沿って病院の活動状況について評価を行います。評価の結果、明らかになった課題に対し、私共が改善に取り組むことで、医療の質の向上が図られます。認定病院は、より良い病院作りを目指して成長し続ける病院と認められることとなります。今回も病院機能評価の認定を獲得できるよう、職員全員で取り組んでいる最中です。

今後とも済生会和歌山病院をご支援のほど、よろしくごお願い申し上げます。

日頃より支援を賜りますよう心よりお礼を申し上げます。

済生会和歌山病院 心臓血管外科では、循環器内科、脳神経外科、糖尿病代謝内科支援のもと全身の動脈硬化性疾患を包括的に管理治療していく“Tota Vascular Care”を実践しています。低侵襲なカテーテル治療に加え外科的血行再建を含めて地域に根差した質の高い全身血管診療を展開したいと考えています。

近年、高齢化や糖尿病・透析患者さんの増加により治療に難渋する症例が増加してきております。特に透析患者さんは血管の高度の石灰化と全身状態の低下で治療に難渋することが多く、カテーテル治療を選択せざる負えない症例が多いです。その際に、血管の高度の石灰化が問題となり、カテーテル治療が困難になることもあります。

今回、カテーテル治療の際の新しい機器（CROSSER(クロッサー)）について紹介します。

CROSSER (クロッサー) による治療

CROSSER (クロッサー) とは



下肢動脈の石灰化を毎秒2万回の振動で除去し、カテーテルを通すための治療機器です。このCROSSERを使用することで、これまでガイドワイヤーやカテーテルが通らず治療が困難であった病変においても治療を行う事が可能となります。

当院では、現在デモ機で対応中です。



クロッサー使用中

こんな状態の患者様に有効です

- ガイドワイヤーの通らない方 ●カテーテルが通らない方
- 高度石灰化の進んでいる方 (特に透析患者様に増加しています)
- 慢性完全閉塞病変の方

症例

78歳、男性

合併疾患

陳旧性心筋梗塞(経皮的冠動脈形成術後)
肝硬変
糖尿病
慢性腎不全(透析中)



下肢の血管が
すべて閉塞
血管の高度石灰化

術前造影CT



治療前



治療中



治療後

CROSSERを使用することで治療が困難であった病変に関する治療が可能になるだけでなく、治療時間の短縮にもなり患者様への負担の軽減にもなります。

慢性閉塞性動脈硬化症・ASO(Arterio sclerosis Obliterans)は加齢とともに(オッズ比10年毎に2-3倍)増加する疾患で、高齢化社会の現在、日常診療で遭遇する機会の増えている疾患です。ASO患者の5年間の死亡率は44%と高率で、大腸癌の38%を超え、リンパ腫の48%に近い数字となっています。死亡原因の75%が心血管イベントであり、救肢のみならず、全身の動脈硬化に対するアプローチが必要になっています。

外科的治療に加え、低侵襲なカテーテル治療までを地域に根差した質の高い全身血管診療を展開したいと考えています。またさらにはそれぞれの状態を適切に診断・把握する事で、生命予後改善につながる、全身治療の提案が出来ればと考えています。

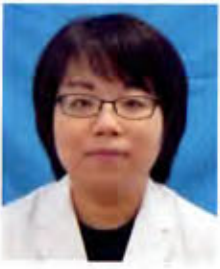
今後共より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

～ 赴任のお知らせ ～



脳神経外科
廣 緒 洋子 医師

4月から赴任しました廣緒洋子(ひろはたようこ)と申します。大阪府下の病院に勤務し数年ぶりに和歌山に戻って参りました。脳卒中などの脳血管の病気に対して、頭を切らずに血管の中からカテーテルを用いて治療を行う、血管内治療を専門としております。その脳血管内治療を中心に脳卒中やそれを引き起こす生活習慣病などに対して、お一人お一人に寄り添った診療を行ってまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



外科
房 本 安矢 医師

4月1日より赴任しました房本安矢(ふさもとあや)と申します。本年度、和歌山県立医科大学第一外科に入局いたしました。皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、日々精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



消化器内科
河 野 尚宏 医師

4月より赴任いたしました河野尚宏(こうのなおひろ)と申します。昨年度は大阪の市中病院で主に消化管出血、通過障害などの急性期消化管疾患や胆膵疾患を始めとして消化器全般の研修を行い、和歌山の皆様のお役にたてればと考えて当院に帰って参りました。至らぬ点も多々あるかと存じますが、地域の医療に貢献できるよう日々研鑽してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

～和歌山東臨床研究会 開催について～

1月30日(土) ダイワロイネットホテルにて、和歌山東臨床研究会を行いました。

今年もたくさんの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。

今回の特別講演は、大阪医科大学附属病院 内視鏡センター長 竹内 利寿先生による『胃酸関連疾患

の最新の話題—GERDとヘリコバクターピロリ除菌の両面から—』についてご講演いただきました。

開業医の先生方からは、日々の診療では身近なテーマであり、非常にわかりやすかったと大好評でした。

又、長い間当会役員をお努めいただいた辻岡 悦二会長が退任され、来期より、岩橋内科 院長 岩橋 司先生が会長をお引き受け下さいましたので、お知らせいたします。

次回の和歌山東臨床研究会は、来年2月18日(土)ダイワロイネットホテルにて開催を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。



情報交換会にて



竹内 利寿先生の講演



～登録医総会開催のお知らせ～

7月16日(土)15時～ ダイワロイネットホテルにて登録医総会を開催いたします。

今回の特別講演は、松崎院長による骨折治療について講演させていただく予定です。

より多くの先生方とお逢いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

お忙しい中とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成28年4月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	河野 尚宏	川口 雅功
		河野 尚宏	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	玉川 えり	—	巽 邦浩	—
巽 邦浩		英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子	
循環器内科	—	—	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	和田 輝明	
脳神経外科	北山 真理	北山 真理	仲 寛	仲 寛	▲林 靖二山家弘雄	
	三木潤一郎	—	廣緒 洋子	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	房本 安矢	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	山川 量平	中村 憲太	新患診	松崎 交作	岡田 紗枝	
	岡田 紗枝	山崎 悟		山崎 悟	中村 憲太	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	湯田 啓之	湯田 啓之	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	医大応援医師	医大応援医師	—	医大応援医師	白井 久美	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	岩橋 悠矢	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
- *水曜日はストーマ外来を実施しています。
(予約制・初診の方は紹介状が必要です)

- ▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が変わります。
- *当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。
ご紹介の際は患者さんの待ち時間短縮の為にもご予約をお取り下さいます様お願いいたします。



診療案内

診察日：月～金曜日
 受付時間：午前8時30分～午前11時(但し、予約患者はこの限りにあらず)
 休診日：土・日・祝祭日(年末年始)
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187